

5. 参考文献

- 1) 富士通エフ・アイ・ピー株式会社；測定所端末及び、自治体端末に関する運用マニュアル, 2001.
- 2) アロカ株式会社；放射線測定装置に関する運用マニュアル, 2001.
- 3) アロカ株式会社；環境放射性物質監視装置測定装置整備業務納入物品仕様書, 2001.
- 4) 長岡銳；G(E)関数法、日本分析センター広報、32, 28-34, 1998.
- 5) 大西勝基, 早川博信；実時間監視用放射性ダストモニタの開発, RADIOISOTOPES, 39, 453-456 (1990).
- 6) United Nations, UNSCEAR 2000 Report, 117, 2000.
- 7) 阿部史朗；我が国における自然の空間放射線分布の測定, 保健物理, 17, 169-193 (1982).
- 8) 岡部茂, 西川嗣雄, 青木正義；大気中及び降雨・降雪中に含まれるラドン娘核種の濃度と環境ガンマ線との関係, 大気中のラドン族と環境放射能, 127-137, 1985.
- 9) 片瀬 栄；レインアウト・ウォッシュアウト現象による環境ガンマ線強度の変動, 大気中のラドン族と環境放射能, 187-195, 1985.
- 10) 池辺幸正, 西條敬二, 飯田孝夫, 永井英男, 中島敬行, 片岡敏夫, 武田喬男；降水の放射能と環境ガンマ線, 大気中のラドン族と環境放射能, 203-210, 1985.
- 11) 早川博信；雨水中の短寿命ラドン娘核種濃度の季節変動, 大気中のラドン族と環境放射能, 211-221, 1985.
- 12) 吉岡満夫；福井県における空間放射線量測定の変遷と現状, 日本分析センター広報, 32, 40-51, 1998.
- 13) United Nations, UNSCEAR 1993 Report, 74, 1993.
- 14) United Nations, UNSCEAR 1993 Report, 80, 1993.
- 15) 辻本 忠；ラドン・トロンおよびその娘核種とモニタリングポスト, 続大気中のラドン族と環境放射能, 97-100, 1990.
- 16) 藤波直人, 湊 進；大気中のラドン娘核種濃度変動の観測, 大気中のラドン族と環境放射能, 99-105, 1985.
- 17) 西川嗣雄, 岡部茂, 青木正義；日本海海上でのラドン娘核種の濃度, 大気中のラドン族と環境放射能, 139-148, 1985.
- 18) 鈴木 欽, 長谷川國彦；環境中のラドン分析の現状, ぶんせき, 527-533, 1994.
- 19) 五十嵐修一；チェルノブイリ原発事故によるヨーロッパの放射能汚染, 保健物理, 21, 316-319 (1986).
- 20) 原子力安全委員会；環境放射線モニタリング指針, 1989.
- 21) <http://www.jnc.go.jp/ztokai/kankyo/jcodata/index.html>
- 22) 武石 稔；私信, 2002.